

まもなく小麦の播種時期です 排水対策をして適期に播種しましょう

1. 小麦の播種適期は 10月25日～11月10日頃！ 早播きは病害や凍霜害を助長します！

適期より早く播種すると、初期生育が軟弱徒長となり、寒害や雪害を受けやすく、黒節病や縞萎縮病の発生を助長します。また、茎立ちが早まり、穂数不足や凍霜害による収量低下につながるため、早播きは避けましょう。特に昨年、黒節病や縞萎縮病が多く発生した地域は、11月に入ってから播種しましょう。

2. 播種が遅れた場合は播種量を増やす！

播種が遅れた場合は、播種量を増やし、苗立数を確保しましょう。目標苗立数は 150～200 本/m² (条間 25cm の場合、1m に 40～50 本程度が目安) です。また、排水不良のほ場では発芽率が低下するため、播種量を 1kg/10a 程度増やしましょう。

播種時期別の播種量の目安

播種時期	播種量 (/10a)
10月25日～ 11月10日	8～9 kg
11月10日以降	9～10 kg

3. 排水対策と土壌の酸度矯正を忘れずに！

播種精度や発芽率の向上のために、湿害を発生させないほ場準備が重要です。事前に排水溝を設置し、雨水がスムーズに排水されるよう準備しましょう。また、小麦の生育に適した土壌 pH は 6.2～6.9 です。アルカリ資材を散布し、酸度矯正を行いましょう。



溝のつなぎ目の部分は必ず連結する